インタラクティブホワイトボード　StarBoardシリーズ

StarBoard Software

ご利用方法について

本資料はStarBoardに添付されているユーザーズガイドの補足資料です。
StarBoardの取り扱いについては、StarBoardに添付されているユーザーズガイドをご熟読の上、お取り扱い下さい。

2008年 3月

HitachiSoft
創る、支える、拓く

Copyright © 2008 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

1. StarBoard Software の基本機能

1.1 StarBoard Softwareの概要
1.2 メニューについて
1.3 マウス操作をする
1.4 手書きをする
1.5 色の変更について
1.6 「資料を表示」について
1.7 「外部映像を表示」について
1.8 「ホワイトボード」について
1.9 保存・終了・印刷について

Copyright © 2008 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

1. StarBoard Software の基本機能

1.1 StarBoard Softwareの概要

StarBoard Softwareは、下記のメイン画面から機能を選択して利用します。
メイン画面の構成についてご説明致します。

資料を表示

PowerPoint、Word、ExcelやPDFの資料、動画や静止画等を読み込み・表示でき、その上から書込みができます。

⇒ 1.6 「資料を表示」について

メニュー

保存したデータを開いたり、設定を行ったり、PC操作に切り替えたりするメニューがあります。

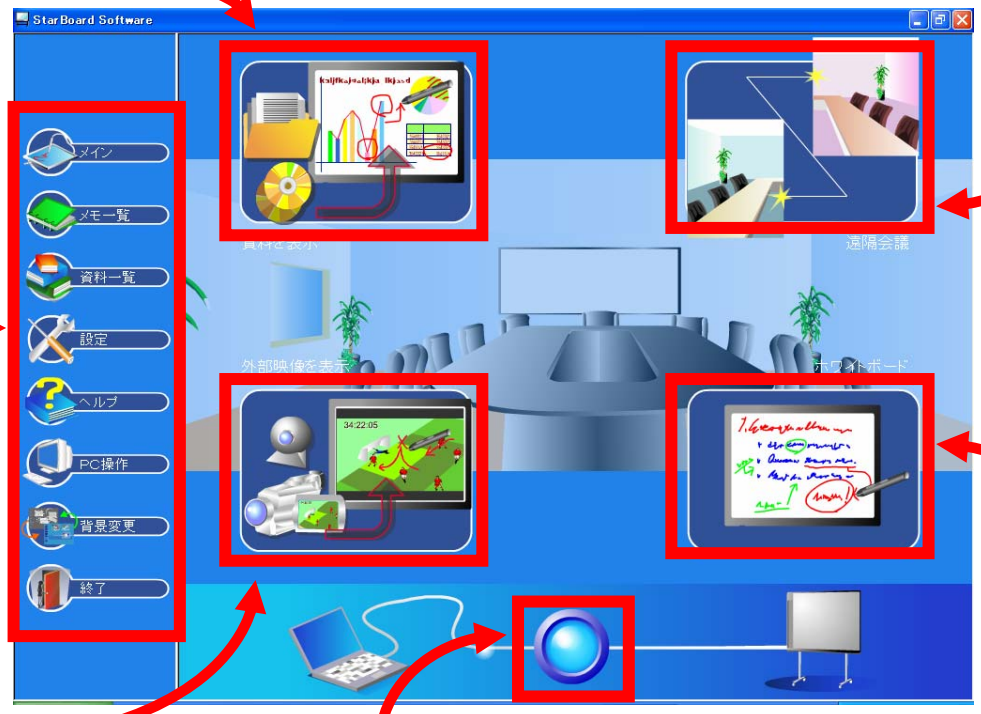
⇒ 1.2 メニューについて

外部映像を表示

外部カメラ(デジタルカメラやデジタルビデオカメラ)の映像をUSBもしくはIEEE1394で取り込み・表示できます。さらにその上から書き込みができます。

⇒ 1.7 「外部映像を表示」について

StarBoard Softwareメイン画面



遠隔会議

複数拠点にあるStarBoardどうしで、資料の共有や書込みができる、データ共有機能をご利用いただけます。

⇒ 3. 遠隔機能について

ホワイトボード

電子的なホワイトボードとしてご利用いただけます。

⇒ 1.8 「ホワイトボード」について

接続確認

StarBoardとパソコンとの接続状態をチェックします。正しく接続されていない場合、ボタンが赤くなります(黄色はチェック中です)。ケーブル類などの接続を確認してください。

Copyright © 2008 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

1. StarBoard Software の基本機能

1.2 メニューについて

保存したデータを開いたり、設定を行ったり、PC操作に切り替えたりする項目があります。

← メイン画面を表示します。

← 保存したデータを参照できます。

← 使う資料を事前にまとめて登録できます。

← 様々なオプション設定ができます。

← Softwareのオンラインヘルプです。

← マウス操作を開始できます。

← メイン画面の背景を変更できます。

← Softwareを終了します。

「PC操作」を選ぶと、マウス操作を開始できると同時にツールバーが表示されます。

StarBoardでは、このツールバーに機能を登録し、選択しながら操作していきます。

詳細は、次のページを参照下さい。

Copyright © 2008 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

1. StarBoard Software の基本機能

■ ツールバーについて

ツールバーは位置を変えたり、縮めたり、形や向けを変更したり、機能を登録・削除したりすることができます。

← 最小化や形・向きを変更するボタンです。
最小化すると、半透明になります。

← 機能を登録・解除できる領域です。

登録

ドラッグ&ドロップ

解除

← 機能のメニューが表示されます。
機能の登録は、このメニューからできます。

主な機能

■ 書込み関係

：筆跡通りに手書きができるペン

：自動で図形認識するペン

：プレゼンテーション用ペン

■ 消去関係

：部分消去用

：全消去用

■ ページ管理

：ページ一覧

■ 拡大・縮小

：ナビゲーション

ペンパレット画面

太さ変更画面

：ペン色の変更

：ペンの太さ変更

ページ一覧画面

ナビゲーション画面

Copyright © 2008 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

1. StarBoard Software の基本機能

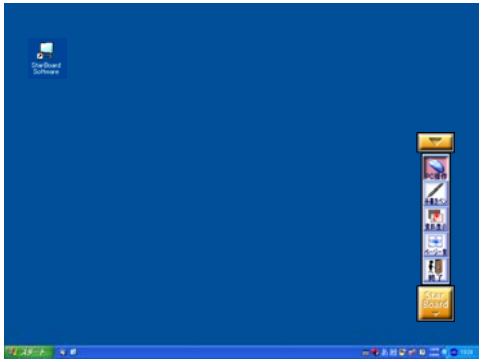
1.3 マウス操作をする

付属の電子ペンを使って、Windowsを操作もできます。

[PC操作]を電子ペンでクリック

StarBoard Softwareの起動画面

いつものWindowsのデスクトップ画面になります。



■ パソコンの操作

インターネットなど電子ペンのクリックで、簡単にリンク先のページに切り替えることができます。

Copyright © 2008 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

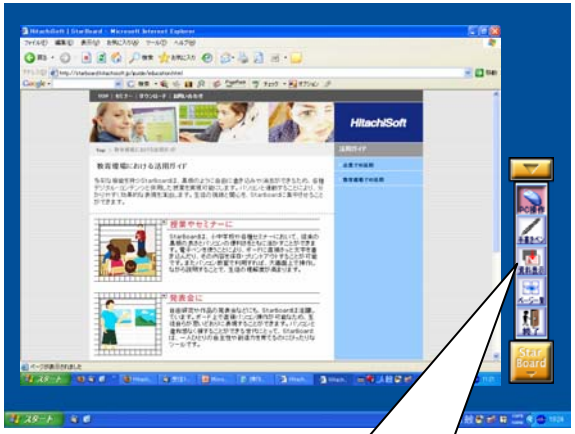
1. StarBoard Software の基本機能

1.4 手書きをする

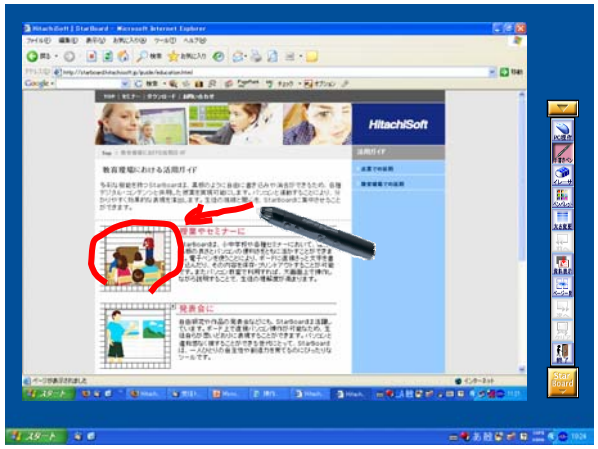
マウス操作して表示した画面に、マーキングしたり、手書きできます。

[手書きペン]ボタンを電子ペンでクリック

デスクトップ画面



■ デスクトップに表示された画面に、自由に書込みをすることができます。



デスクトップ画面

■ パソコン操作に戻るときには、
[PC操作]ボタンを押します。

便利な機能

● 消す場合は、[イレーサ]ボタンをクリックして、書いた線をなぞります。
書いた文字、線を消すには、[クリア]ボタンをクリックします。

Copyright © 2008 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

1. StarBoard Software の基本機能

1.5 色の変更について

ペンの色を変えて、書いてみましょう

[ペンパレット]ボタンをクリック

72種類の色から好きな色を選んで書けます。

ソリッドペン

蛍光マーカーペン

縁取りペン

影付きペン

チューブペン

テクスチャペン

便利な機能

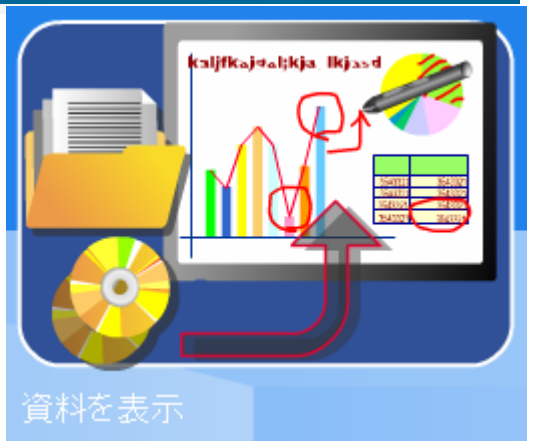
- ペンの太さを変更するには[太さ変更]ボタンをクリックして、自由に太さを変更できます。[イレーサ]ボタンを押して、[太さ変更]ボタン押せば、消しゴムの大きさも変更できます。

Copyright © 2008 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

1. StarBoard Software の基本機能

1.6 「資料を表示」について

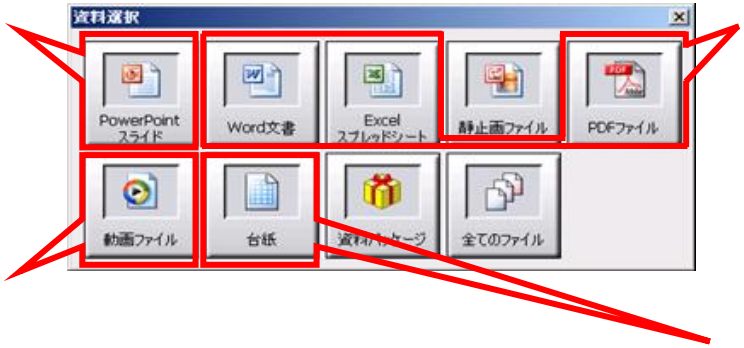
PowerPoint、Word、ExcelやPDFの会議資料、動画や静止画等を
読み込み・表示でき、その上から書込みができます。
メイン画面から「資料を表示」をクリックします。
「資料選択」画面が表示されますので、開きたいファイルの種類を選びます。



■ PowerPoint

PowerPointファイルを選ぶと、
スライドショーが開始されます。
スライドのめくりは、ツールバーの
「前へ」 、「次へ」 を
使います。

「資料選択」画面



■ Word/Excel/PDF

Word、ExcelおよびPDFファイルを選ぶと、
すべてのシートもしくはページの印刷
イメージを取り込み、表示します。
取り込んだページのめくりは、
ツールバーの「前へ」 、「次へ」 を
使います。

■ 動画

mpegやavi等の動画ファイルを選ぶと、
動画用ツールバーも表示され、再生・停止等の
操作をしつつ、動画上に手書き※ができます。

※ パソコン環境に依存します。

動画用ツールバー

■ 台紙

あらかじめSoftwareに登録されている
テンプレートで、罫線付きやスケジュール
表等が用意されています。
他に、お客様でよくご利用なられるものを
台紙として登録することもできます。

Copyright © 2008 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

1. StarBoard Software の基本機能

1.7 「外部映像を表示」について

外部カメラ（デジタルカメラやデジタルビデオカメラ等）の映像を、
USBもしくはIEEE1394で取り込み・表示できます。
さらに、表示した映像の上から書込み※ができます。
メイン画面から「外部映像を表示」をクリックします。
「外部機器の選択」画面が表示されますので、機器を選択して
「ビデオ入力」ボタンをクリックします。　　※ パソコン環境に依存します。

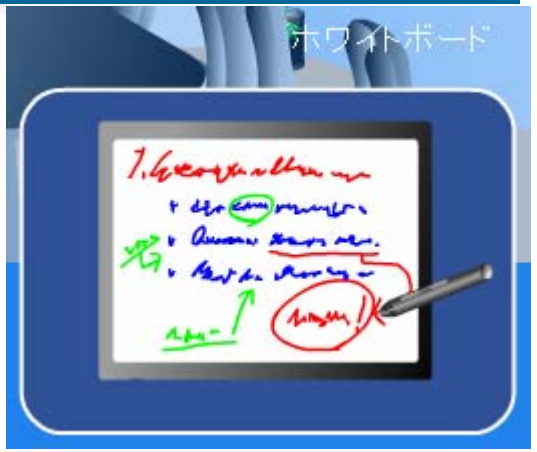
表示される動画用ツールバーで再生・停止等の操作ができます。

キャプチャ　シークバー　音量　再生　一時停止　停止　逆再生　逆コマ送り　コマ送り　スロー　早送り　拡大　縮小

Copyright © 2008 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

1. StarBoard Software の基本機能

1.8 「ホワイトボード」について

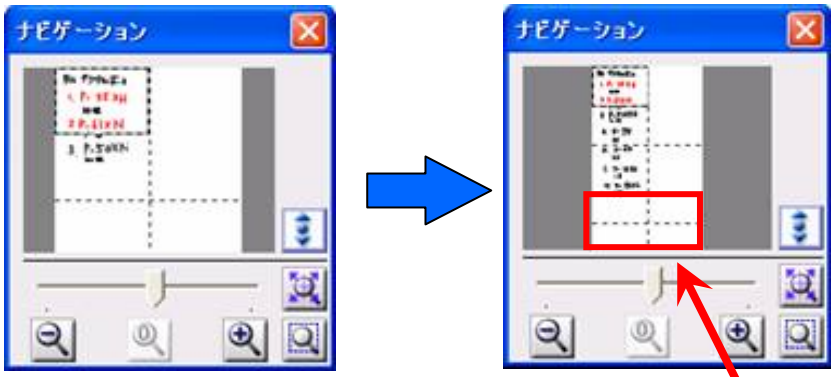


電子的なホワイトボードとしてご利用いただけます。

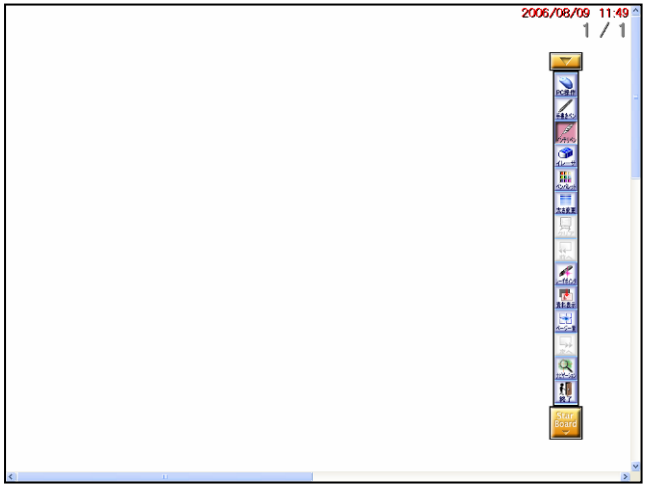
メイン画面から「ホワイトボード」をクリックします。

書き込みスペースがスクロールシートのように上下左右にスクロールするので
スペースを気にせず、書き続けることができます。
さらに、書き込みスペースがいっぱいになると書き込みスペースが自動で広がるので、
スペースの心配をすることなく、書き続けていくことができます。

ナビゲーション画面



「ホワイトボード」画面



Copyright © 2008 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

1. StarBoard Software の基本機能

1.9　保存・終了・印刷について

（1）保存

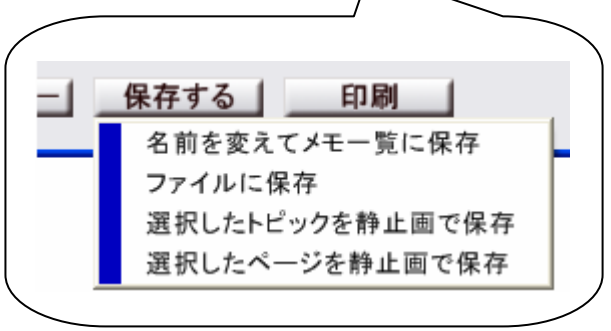
「ページ一覧」画面より、ページ単位、トピック単位で保存することができます。

- **名前を変えてメモ一覧に保存**：　StarBoard Software独自形式（.yar)で保存できます。
- **ファイルに保存**：　StarBoard Software独自形式（.yar)、PDFファイル（.pdf）
  PowerPointファイル（ppt）、または、HTML形式（.html）で保存できます。
- **選択したトピック（ページ）を静止画として保存**：bmp,png,jpgで保存できます。

※ StarBoard Software独自形式で保存した場合、
再度、StarBoard Softwareで開いて、手書きを加えたり、消したりと編集することができます。

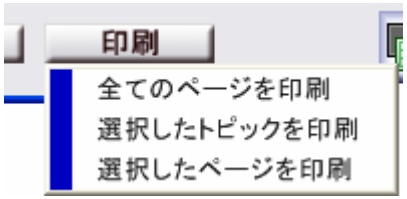
または、ツールバーの「終了」 を押した際に、保存確認ダイアログが表示されますので、保存することができます。
保存形式は、StarBoard Software独自形式（.yar)で保存されます。

「ページ一覧」画面



（2）印刷

「ページ一覧」画面より、ページ単位、トピック単位で印刷を行うことができます。



「保存確認」画面

Copyright © 2008 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

2. StarBoard Softwareの便利な機能

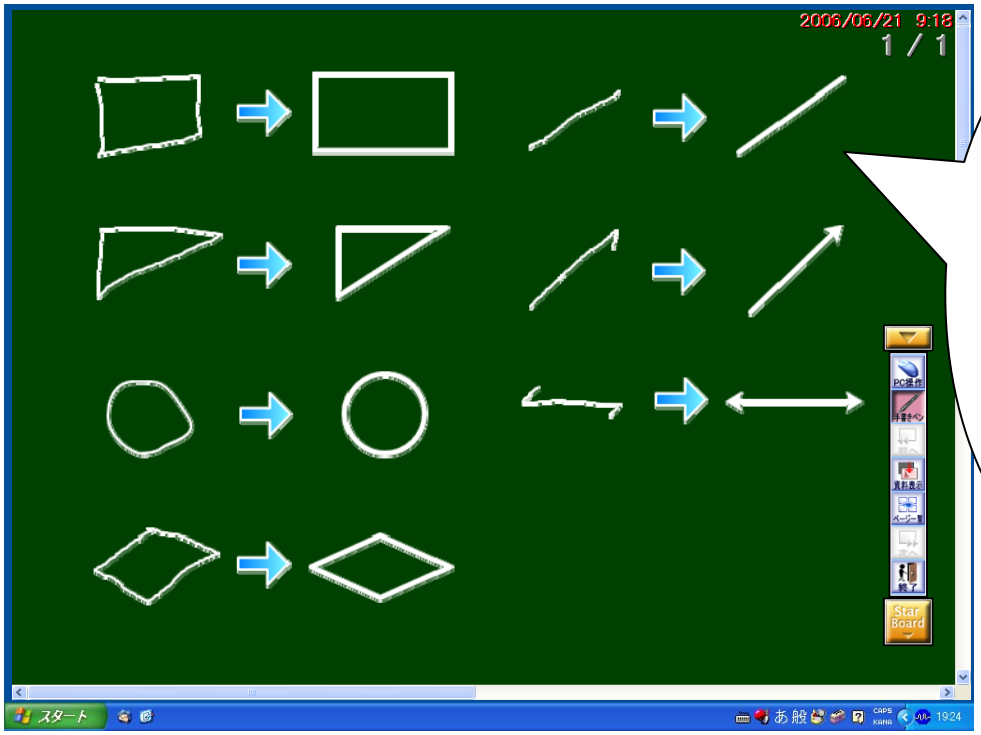
2.1 インテリペンについて
2.2 ユーザプロファイルについて
2.3 Officeファイルへの保存について
2.4 ちょっと録画について
2.5 ハイパーリンクについて
2.6 ショートカットについて
2.7 TWIN機器からの取り込みについて
2.8 手書き文字のテキストオブジェクトへの変換について

Copyright © 2008 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

2. StarBoard Softwareの便利な機能

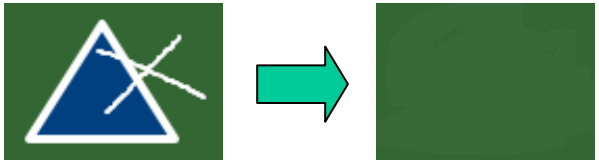
2.1 インテリペンについて

インテリペンを使って図形を描くと自動的に整形され綺麗を描くことができます。

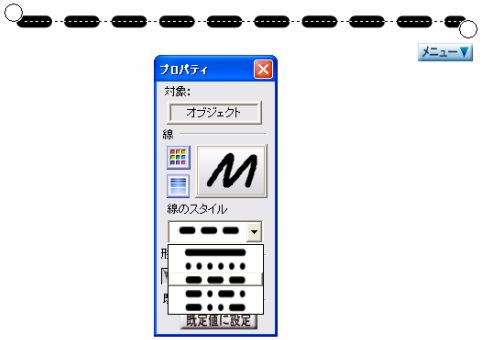


変換できるのは、
三角形
◆ 四角形
◆ 五角形
◆ 六角形
◆ 星型
◆ 円(楕円)
◆ ひし形
◆ 直線
◆ 矢印
などです。

消すときは図形の上から×を描くと消すことができます。



「メニュー」ー「プロパティ変更」から線を点線や破線にも変更したり、色を変更したりできます。

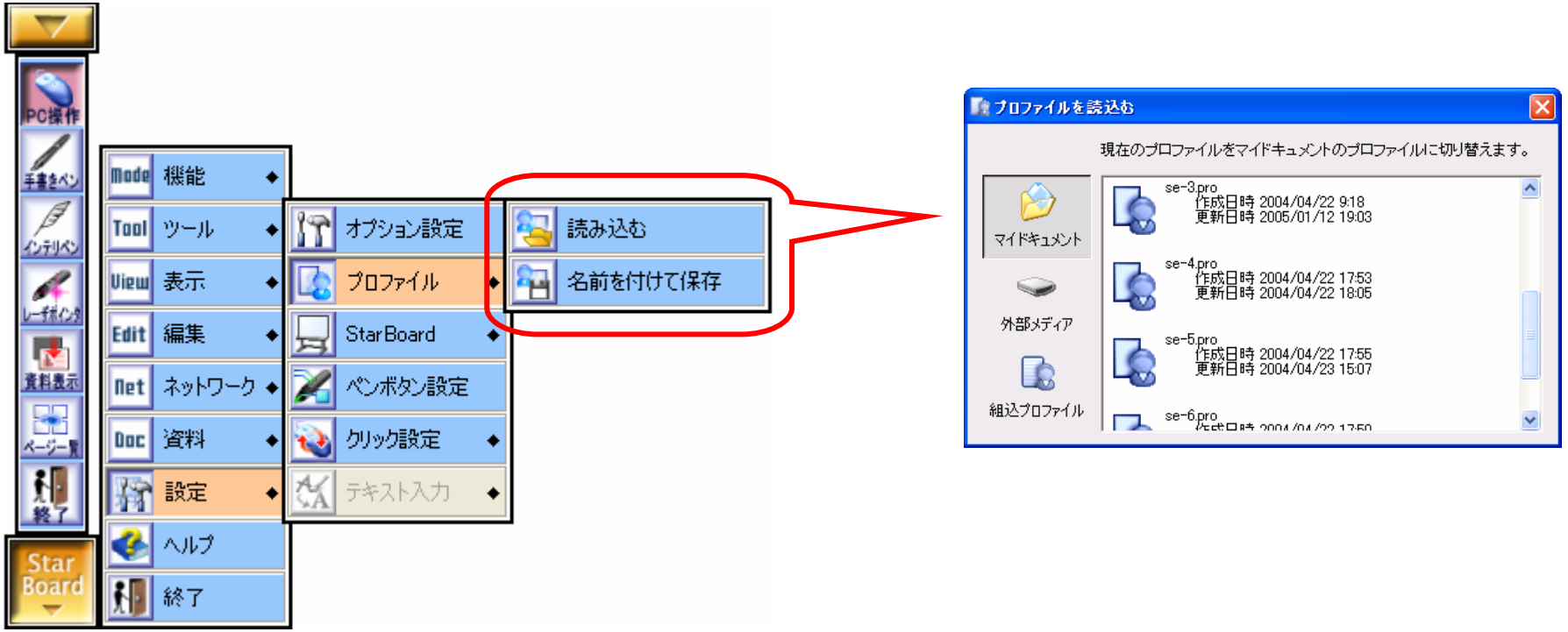


Copyright © 2008 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

2. StarBoard Softwareの便利な機能

2.2 ユーザプロファイルについて

ユーザプロファイルには、ツールバーの設定やネットワークの接続先情報等がユーザ情報として保存されます。プレゼンテーションや講義・会議等の用途に応じたプロファイルを作成しておけば、その場面に適したツールバーの設定をすばやく再現できます。
また、プロファイルの変更を保存できなくする等の設定もできます。



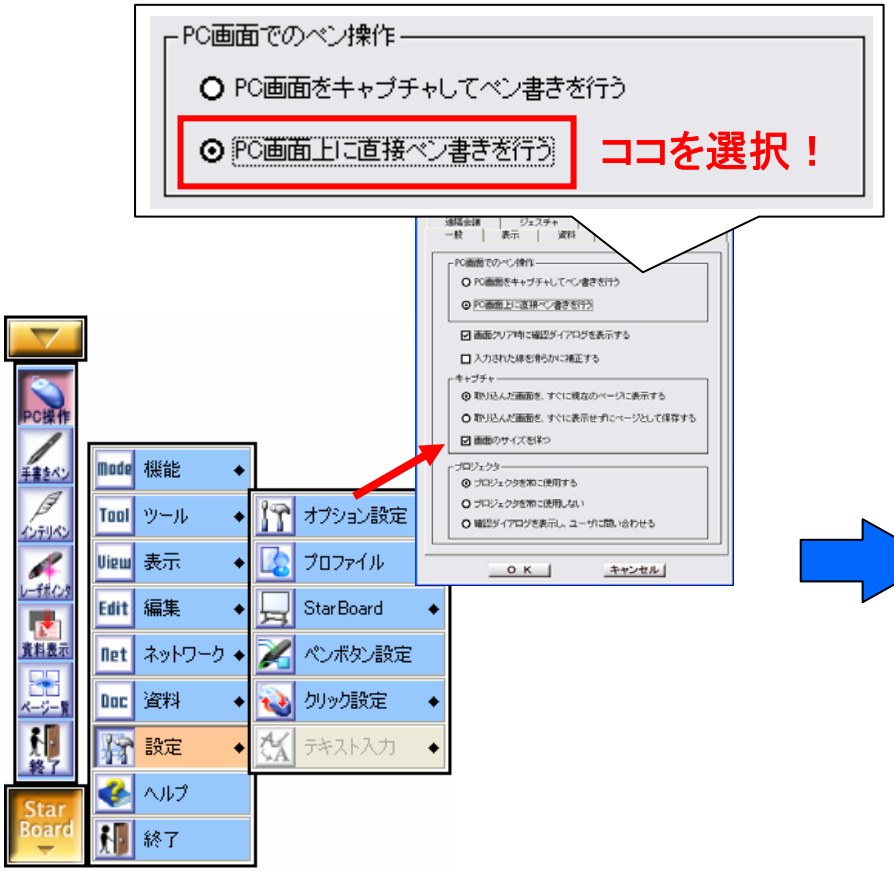
Copyright © 2008 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

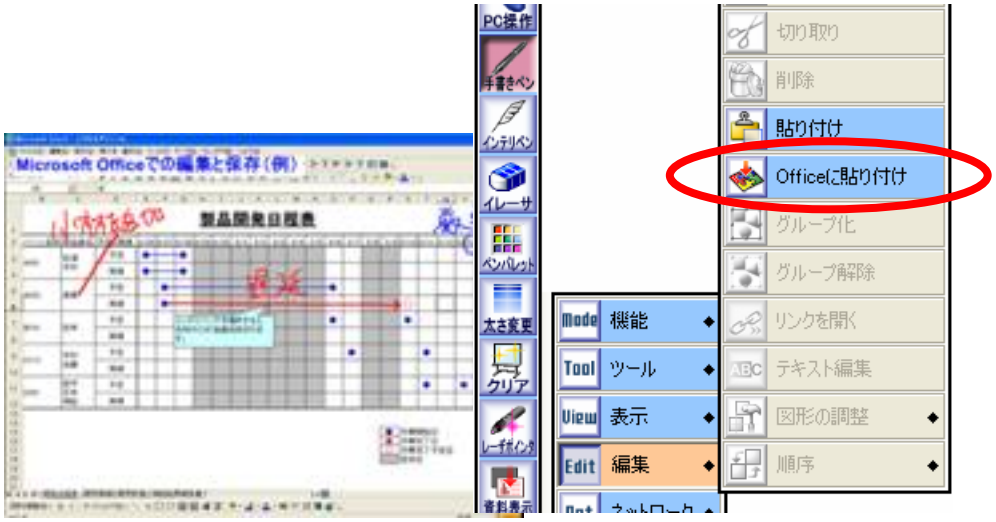
2. StarBoard Softwareの便利な機能

2.3 Officeファイルへの保存について

手書き情報を加えたWord、Excel、PowerPointを保存する場合、それぞれのファイル形式にて保存することができます。

Office形式で保存する場合は、まずオプション設定を変更する必要があります。





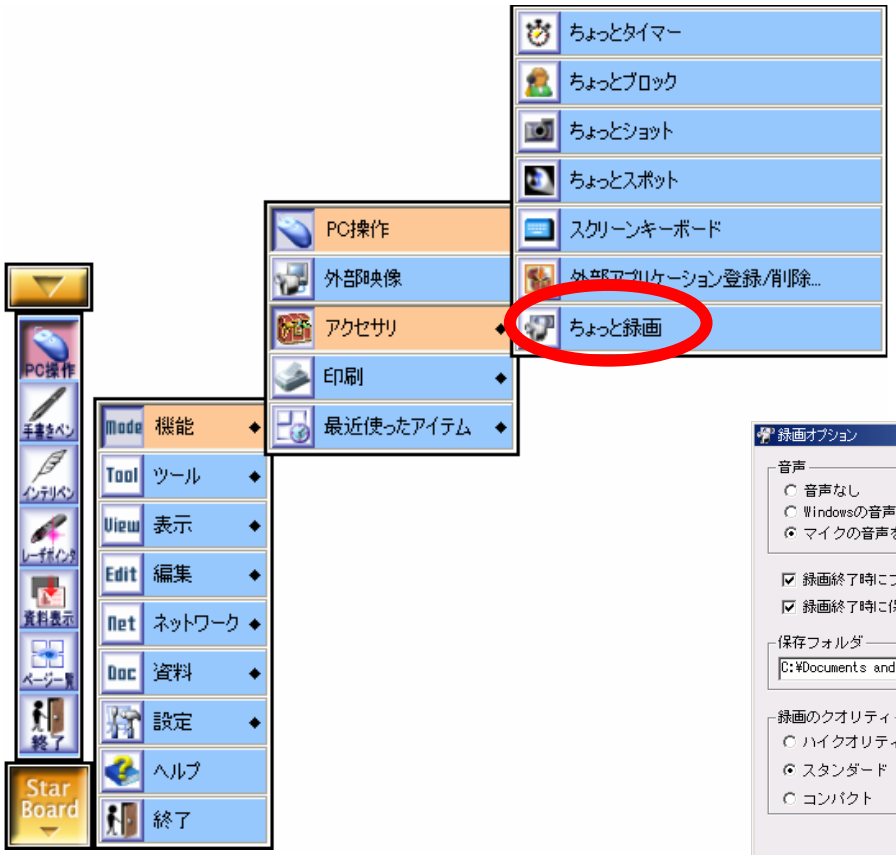
Word、Excel、PowerPointのファイルを表示して手書きした後、「Officeに貼り付け」を押すことにより、Officeデータのオブジェクトとして貼り付きます。

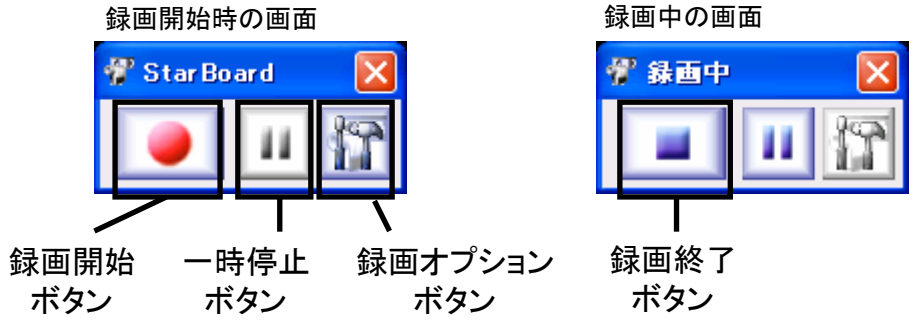
Copyright © 2008 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

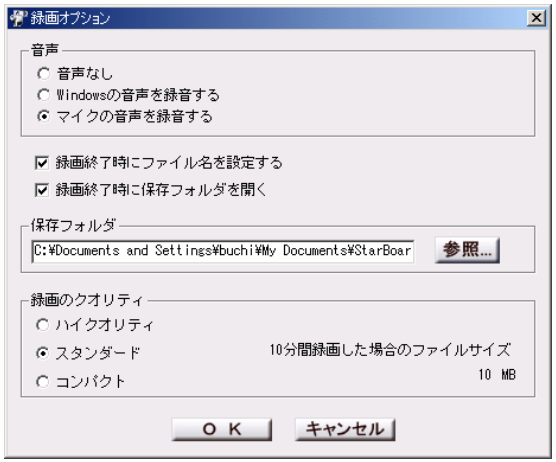
2. StarBoard Softwareの便利な機能

2.4 ちょっと録画について

StarBoard Softwareを使って講義・会議した内容を、音声を交えて録画することができます。
保存はWMV形式になります。







一度に録画できる長さは最大で2時間
もしくはハードディスクの空き容量が少なく
なるまでです。
設定ごとのおおよその動画ファイルの
サイズは下記の通りとなります。

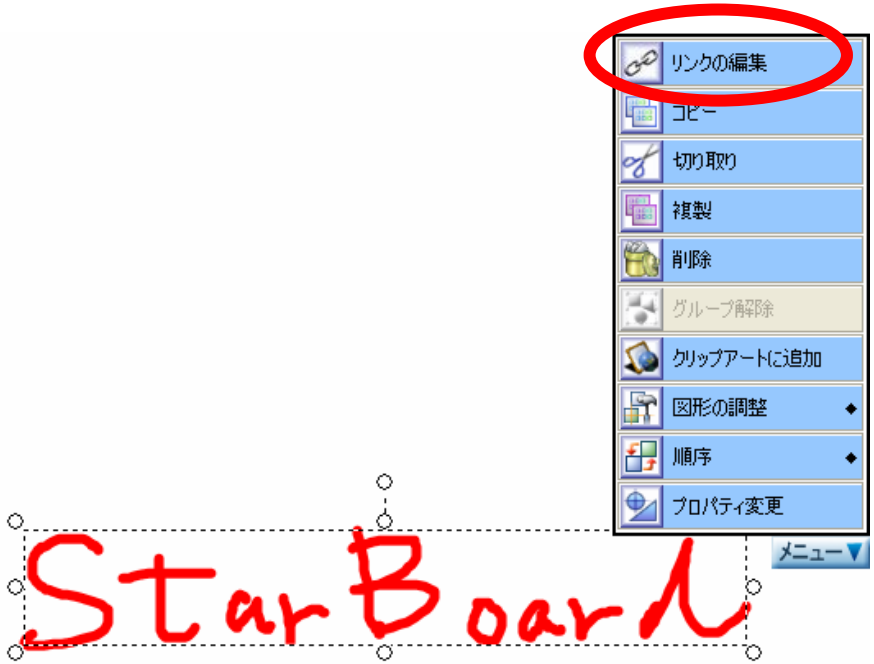
ハイクオリティ	:約20MB
スタンダード	: 約10MB
コンパクト	: 約5MB

Copyright © 2008 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

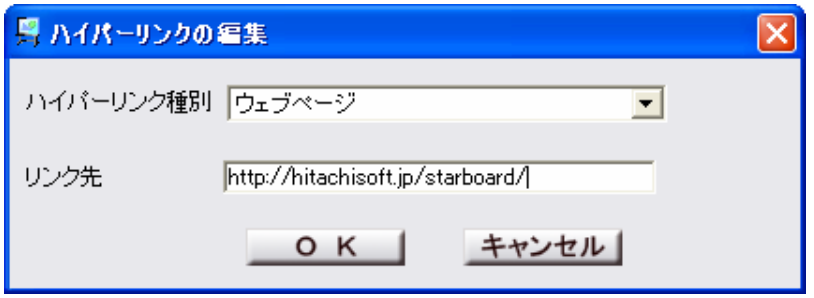
2. StarBoard Softwareの便利な機能

2.5 ハイパーリンクについて

入力したオブジェクトに対して、ファイルやウェブページへのリンクを設定することができます。
ハイパーリンクの内容を変更する場合は、対象オブジェクトを選択して表示される「メニュー」ボタンから「リンクの編集」を選択します。



ハイパーリンクの編集画面



Copyright © 2008 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

2. StarBoard Softwareの便利な機能

2.6 ショートカットについて

StarBoard Softwareでの編集機能を、キーボードショートカットに割り当てて利用することができます。

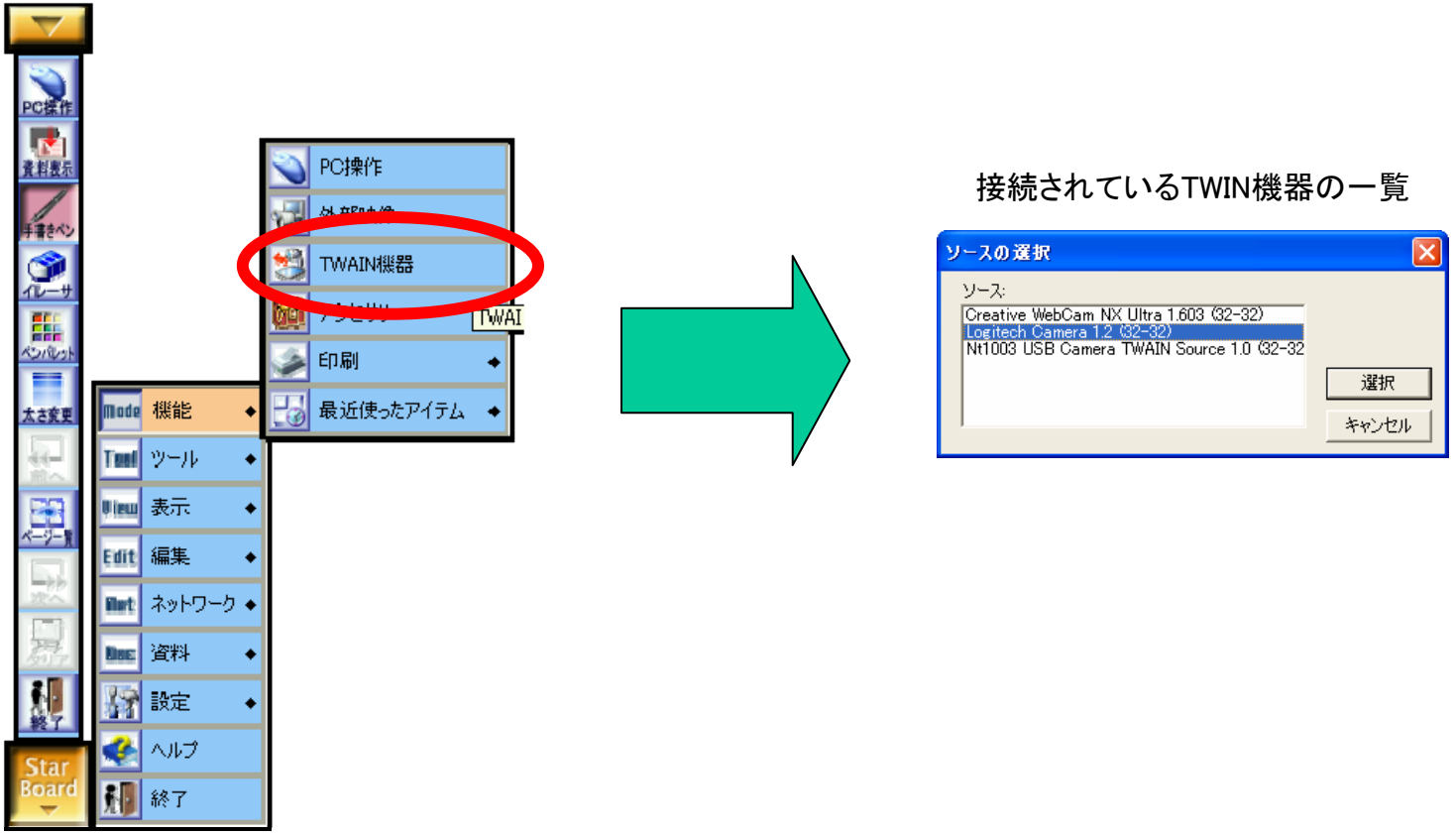
ショートカットキー	機能
Ctrl + C	コピー
Ctrl + V	貼り付け
Ctrl + X	切り取り
Ctrl + P	現在のページを印刷
Ctrl + A	すべて選択
Ctrl + Z	元に戻す
Ctrl + Y	やり直し
Ctrl + G	グループ化
Ctrl + U	グループ解除
Ctrl + T	新規テキスト作成
Del	削除
Ctrl + N	白紙を追加
Ctrl + O	資料を表示
PgDown	次へ
PgUp	前へ
Ctrl + L	ページ一覧
Alt + Enter	全画面表示の切り替え

Copyright © 2008 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

2. StarBoard Softwareの便利な機能

2.7 TWIN機器からの取り込みについて

パソコンに接続された書画カメラなどのTWAIN機器から画像を取り込みます。複数のTWAIN機器が接続されている場合、表示される一覧から使用する機器を選択してください。取り込みの画面の操作方法については、TWAIN機器の取扱説明書をご覧ください。

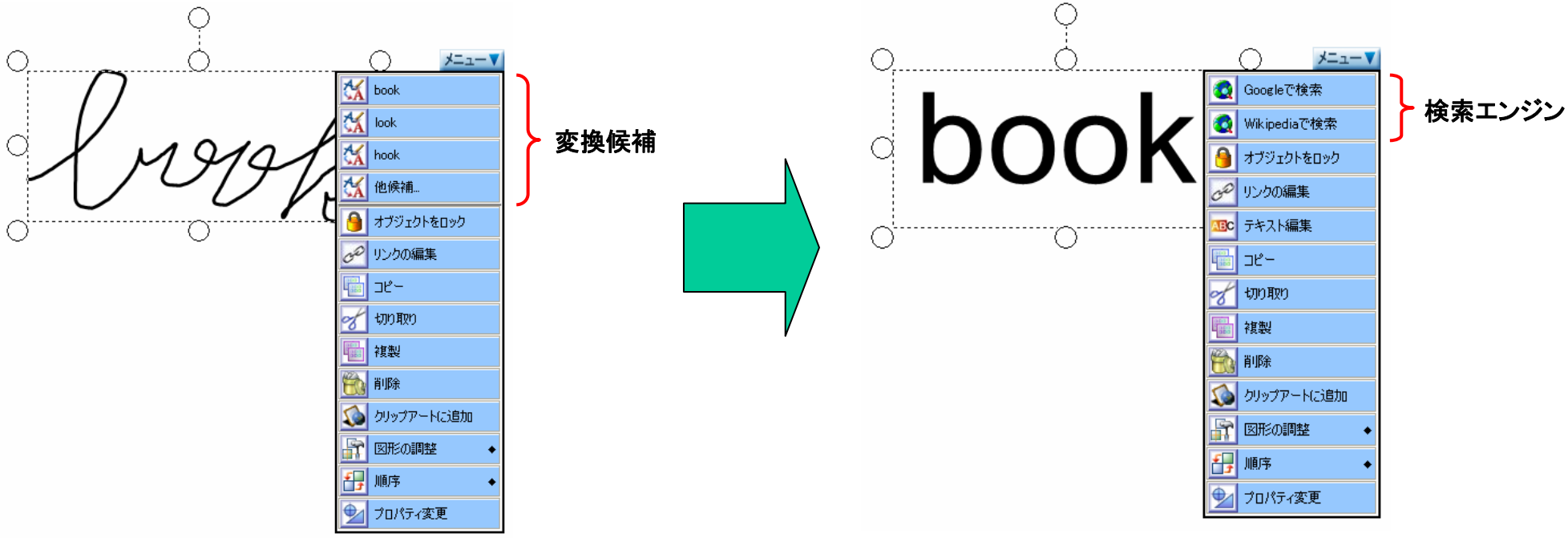


Copyright © 2008 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

2. StarBoard Softwareの便利な機能

2.8 手書き文字のテキストオブジェクトへの変換について

手書きした文字をテキストオブジェクトに変換することができます。
手書き文字を選択すると、そのオブジェクトのそばに「メニュー」が表示されます。
「メニュー」を選択すると、変換候補が表示されます。候補からテキストを選択すると、手書き文字がテキストに変換されます。テキスト変換の対象言語は英数字のみです。
さらに変換した文字をインターネット（Google/Wikipedia）を使った検索が「メニュー」からできます。



Copyright © 2008 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

3. StarBoard Software の遠隔機能

3.1　接続・切断方法について
3.2　「主催」または「参加」 各々で開始する
3.3　「呼出」機能を使って開始する
3.4　参加者一覧画面について
3.5　資料(データ)の送信について

Copyright © 2008 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

3. StarBoard Software の遠隔機能

3.1 接続・切断方法について

StarBoardの遠隔機能（DDC：Digital Document Conference）を利用する際、接続操作をする必要があります。接続には、次の2通りの方法があります。

■ ある拠点が「主催」として起動し、他の拠点が「参加」として「主催」に接続する方法

⇒ 3.2 「主催」または「参加」 各々で開始する

■ ある拠点が「主催」となり、「参加」拠点に接続要求を出して接続する方法（「呼出」機能）

⇒ 3.3 「呼出」機能を使って開始する

「主催」とは遠隔会議・講義を開始する拠点を指し、「参加」とは遠隔会議・講義に参加する拠点を指します。「主催」「参加」により、利用できる機能に制限はありません。

遠隔会議・講義終了後に切断する場合は、ツールバーの「終了」ボタンを押して下さい。
保存するか否かの問い合わせ画面が表示され、ネットワークが切断されます。

Copyright © 2008 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

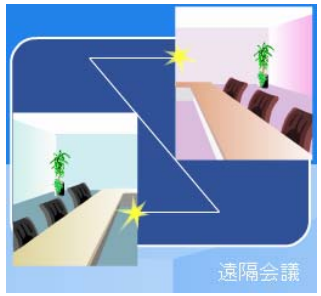
3. StarBoard Software の遠隔機能

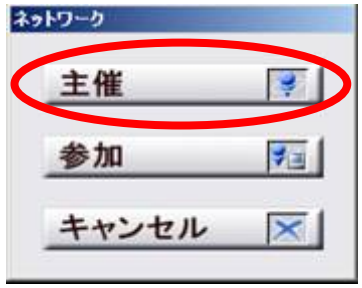
3.2 「主催」または「参加」各々で開始する

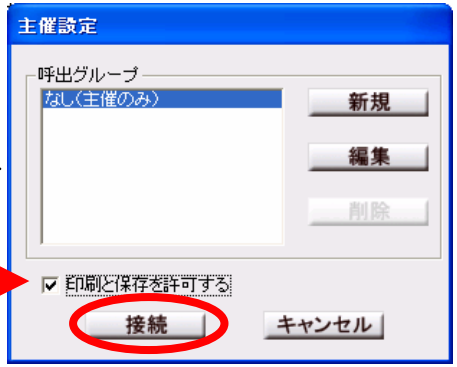
(1)「主催」として開始する

メイン画面から「遠隔会議」をクリックして表示される「ネットワーク」画面で、「主催」を選択して下さい。

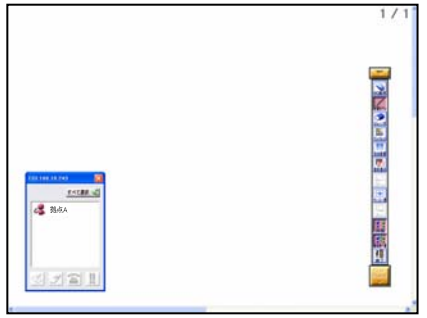
メイン画面の「遠隔会議」ボタン







DDC起動初期画面



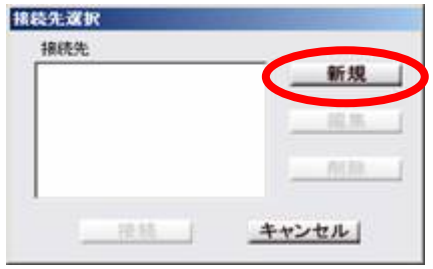
※チェックボックスをはずして遠隔会議を開始すると参加者側に
配信されたデータの 印刷・保存をできなくすることができます。

(2)「参加」として開始する

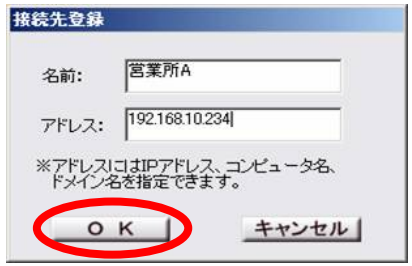
メイン画面から「遠隔会議」をクリックして表示される「ネットワーク」画面で、「参加」を選択して下さい。
「参加」の場合は、「主催」拠点の情報を設定する必要があります。

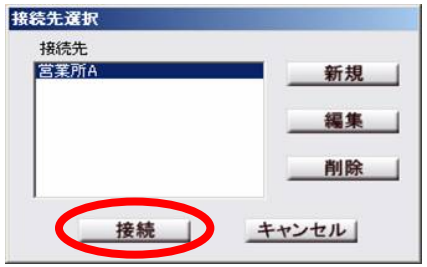
※ 遠隔会議に参加するには、接続先のStarBoardで遠隔会議が「主催」として開始されている必要があります

「接続先選択」画面

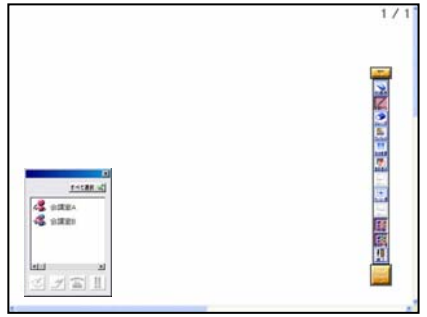


「主催」情報を入力





DDC起動初期画面

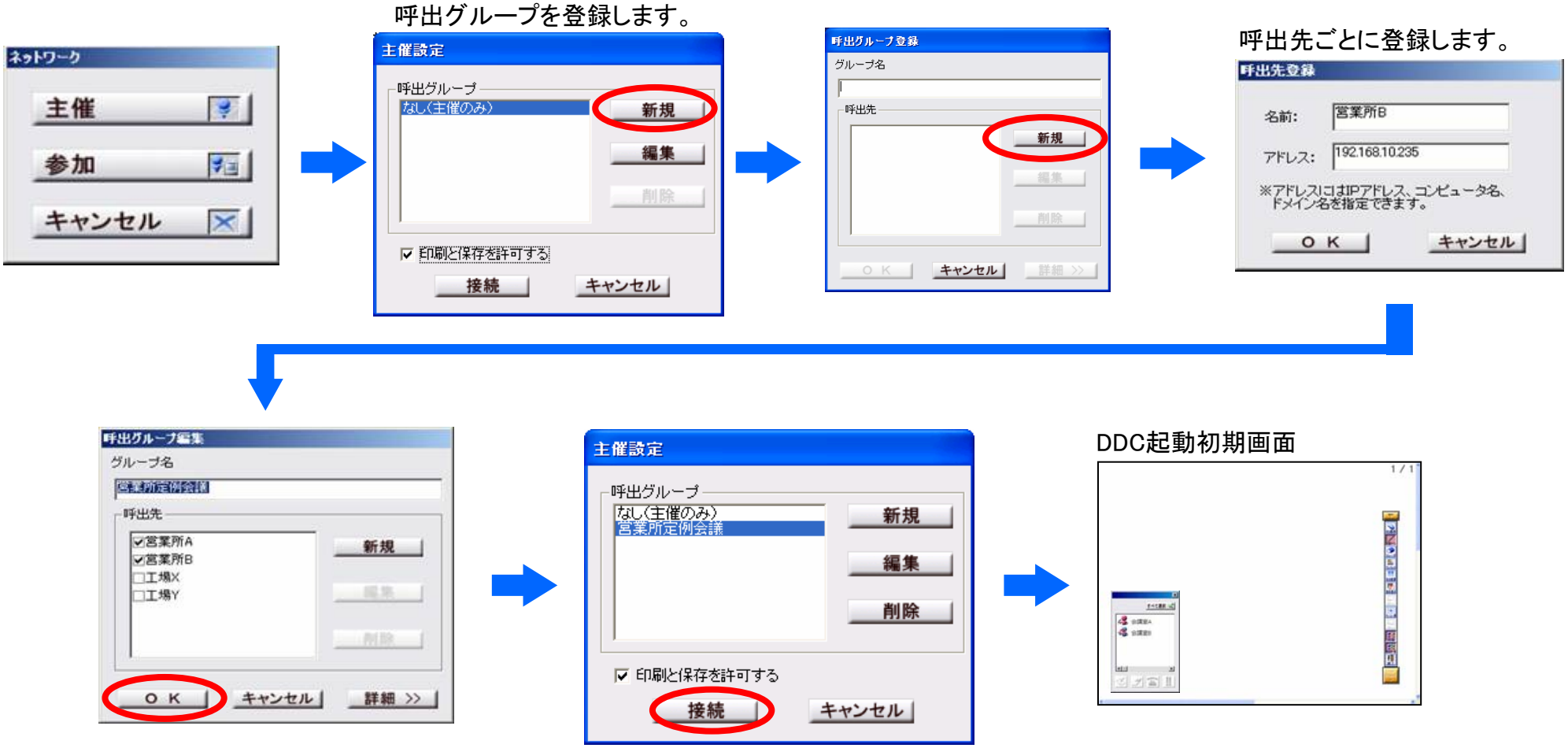


Copyright © 2008 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

3. StarBoard Software の遠隔機能

3.3 「呼出」機能を使って開始する

「呼出」とは、遠隔会議・講義に参加する拠点をグループとして登録しておき、「主催」からそのグループを呼び出して一括で接続を行うことができる機能です。



Copyright © 2008 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

3. StarBoard Software の遠隔機能

3.4 参加者一覧画面について

参加者一覧画面で、遠隔会議・講義に参加している拠点（名）を一覧で参照することができます。
また、操作権限の制御も行うことができます。

※ 参加者一覧画面に表示される名称は、オプション画面で設定することができます。

主催者 「主催」拠点のアイコンです。

参加者 「参加」拠点のアイコンです。

発表者 資料追加やページめくりができます。
発表者権限を持っていないと
資料追加やページめくりはできません。

書き込みが禁止されているときのアイコンです。

主催者が各参加者に対して書き込みの許可・非許可を設定します。

主催者が発表者を指名するときに使用します。

接続していない（拠点名だけ表示されており、アイコンが表示されていない）参加者を呼び出します。

非同期状態の参加者を強制的に同期状態にします。

参加者側だけ表示されるアイコンです。
参加者が発表者権限が欲しいときに使用します。

Copyright © 2008 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

3. StarBoard Software の遠隔機能

3.5　資料（データ）の送信について

スタンドアロンでのご利用と同様に、資料（データ）を表示して他の拠点へ送信することができます。

（1）Word、Excel、PowerPointのOfficeファイル、静止画、PDFファイル、台紙を送信する場合

“1.3「資料を表示」について” と同じ操作で資料を表示します。印刷イメージで取り込まれると同時に、他の拠点へ送信されます。台紙の場合は、台紙を開くと同時に、他の拠点へ送信されます。

（2）その他の資料（データ）の場合

（1）以外のWindowsファイルについては、PC操作ボタンを押してファイルを開いた後、ペンボタン（3種類どれでも可）または「キャプチャ」ボタンを押します。
表示されている状態の画面イメージが作られ、他の拠点へ送信されます。

Copyright © 2008 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.